

福山市市政運営方針

(福山みらい創造ビジョンの推進に向けて)

(1) 市政運営の基本

「スピード感」「情報発信」「連携」

現場主義の徹底 <市民の声を政策に反映><地域の特性を生かしたまちづくり>

成果主義の徹底 <最少の経費で最大の効果を発揮>

(2) 市政運営の基盤づくり

①時代の変化に対応した施策の構築

○限られた資源を有効かつ効率的に活用し、市民ニーズの変化に的確に対応していくため、優先度、公と民の役割分担、受益と負担の公平性、費用対効果などを根拠に基づき多角的に検証し、施策・事業や公共施設等サービスの再構築を行います。

②組織の総合力の強化

○簡素で効率的な組織体制を基本に、時代の変化に対応した政策の立案・実施や横断的な連携を行うことができる体制を構築します。

○多様な行政課題に果敢に挑戦し、情勢の変化に対応できる職員を育成するとともに、強化すべき分野に外部の専門人材を活用します。

③行政のデジタル化

○市民の利便性の向上やサービスの充実、行政内部事務の効率化・スマート化の実現のため、デジタル技術の積極的な活用による行政のデジタル化を進めます。

④財源の確保

○持続可能な財政の維持・構築に向けて、市税などの収納率の向上やネーミングライツによる既存財産を活用した収入の拡大等、多様な歳入確保策に取り組みます。

⑤連携

○国・県との連携を強化し、施策効果を高めます。また、備後圏域の中核都市として、圏域内の市町や産学金官民との連携により、圏域の一体的な発展をけん引します。

⑥共創

○まちづくりの主役である市民一人一人が活躍できる環境づくりや市民の声を政策立案に生かす取組を行います。

○SDGsへの理解を深め、ばらのまちづくりに代表される協働の取組などを更に発展させ、多様な主体と共に創意工夫の下、新たな都市の魅力や地域の価値を創造します。